

登録コード	T0Q21910	開講年度	2026						
授業科目	化学概論（24T以降）（水土・機械）							担当教員	錦織 広昌
英文授業名	Introduction to Chemistry							副担当	
単位数	1	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	火曜・5時限			対象学生	水環境・土木工学科、機械システム工学科2,3年生（教職課程）
講義室	工C3-202教室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】		
	2 5Tカリ								
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。					⇔	大学の専門課程の化学関連の学習に向けて、基礎的な原理を理解するために必要な考え方が身についている。		
	2 6Tカリ								
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。					⇔	対象外		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	専門課程に移行するにあたって、高等学校「化学基礎、化学」の教科書の内容に基づいて、要点の復習を行う。一般的な化学の重要項目について、解説や演習問題を通じ理解を深める。大学の専門課程の化学関連の学習に向けて、基礎的な原理を理解するために必要な考え方を身に付ける。								
(5)授業計画	第1回：授業の概要説明とガイダンス 第2回：物質の構成と化学結合 第3回：物質の状態 第4回：気体の性質 第5回：化学熱力学 第6回：化学平衡 第7回：物質の変化I（無機物質） 第8回：物質の変化II（有機化合物・高分子化合物）、授業アンケート								
(6)成績評価の方法	期末試験により、高校化学の内容を理解し専門化学を学習する準備ができているかどうかを評価する。受講態度を加味する場合もある。								
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」 例題に関する演習問題が解ければ「やや上にある」 演習問題をやや応用した問題が解ければ「かなり上にある」 さらに難しい応用問題が解ければ「卓越している」								
(8)事前事後学習の内容	この講義では、高校の「化学基礎」および「化学」を概ね理解しているものとして進める。								
(9)履修上の注意	教職課程の学生は必ず履修すること。								
(10)質問,相談への対応	メールにて受け付ける。 メールアドレス： nishiki@shinshu-u.ac.jp								
(11)その他									
【教科書】	指定しない								
【参考書】	高校で使用した教科書を用意する。								